

ちよっと
わがしいんじゃない

2人制の検証なし 県民からも疑問の声

山形県の規模で2人の副知事が必要なのか、前回議論を呼び、党県議団は、副知事2人制の条例には反対し、

出されている人事案件は、人物が適当かどうかの評価となりますが、県議団としては、以上のような見解から

齋藤弘知事は3日、県議会本会議で、辞任する後藤靖子副知事の後任に荒木由季子氏をあてる人事案件を提案し、4日の本会議で同意されました。

日本共産党山形県議団（笹山一夫、渡辺ゆり子）は、採決に加わらず退席、第2会派の県民クラブのうち3人と合わせて、5人が退席しました。

笹山一夫団長は、退席した理由について以下3点にわたって見解を述べています。

後藤副知事の人事案には退席をしました。2人副知事制の検証はされていません。

齋藤知事は、来年早々知事選を控えています。が、まだ出馬表明も、県民に対する説明もありません。パートナーとなる副知事人事を突然出してきました。

後藤氏、荒木氏と2代続けて国からの副愛人事であり、山形県の副知事ポストのひとつは、国の女性課長の派遣が慣行化することになります。



昨年、県内の自殺者数が報道されています。県健康福祉企画課（厚労省人口動態統計調査）によると、07年の県内自殺者は332人（山形市は61人）となり、昨年より減少したものの、依然として300人を超えています。

動機は、うつ病などの健康問題、次は経済・生活問題となつていきます。全国では、自殺者が10年連続3万人以上という緊急事態となつています。人口10万人あたりの自殺者である自殺率で見ると、日本はアメリカやイギリスの2〜3倍とのこと。1998年にそれまでの10年間の平均2万2千人から一挙に1万人も増えて、高い水準がそのまま続いていますが、98年は失業率が劇的に上がった年と重なる

探決に加わらず、退席したものです。

私は、一般的に女性が活躍するのはうれし

しかし、齋藤知事が「女性副知事」を公約化し、副知事2人に土俵を広げ、そのうち1人を、2代続けて国の省庁から引っ張ってくる女性の方々から

た女性をあてるやり方に、みなさんは納得するでしょうか。私には心ある女性の方々から

いと感じますし、女性副知事をいれたいと否定するものではありません。

しかし、齋藤知事が「女性副知事」を公約化し、副知事2人に土俵を広げ、そのうち1人を、2代続けて国の省庁から引っ張ってくる女性の方々から

こんにちは

渡辺ゆり子

2008年7月13日
第39号
発行
日本共産党県議会議員
渡辺ゆり子
〈連絡先〉
日本共産党県議団執務室
電話 023-630-3241
自宅：山形市青田2-10-5
電話 023-642-2365

山形市平和都市宣言事業が行われています。いずれも入場無料です。

平和コンサート
7 / 13(日)「ほっとなる広場」

平和劇場
7 / 19(土) 市民会館大ホール
市民手づくり舞台「早春の賦物語」
2回公演 午後2時～ 午後7時～

原爆展
8 / 7(木)～11(日)月
中央公民館

ぜひご参加を

07年 県内自殺者300人超

あげて予防対策を

自助です。雇用不安や社会保障の後退が、生きる意欲さえ奪っていることがわかります。

自助です。雇用不安や社会保障の後退が、生きる意欲さえ奪っていることがわかります。



自助です。雇用不安や社会保障の後退が、生きる意欲さえ奪っていることがわかります。

自助です。雇用不安や社会保障の後退が、生きる意欲さえ奪っていることがわかります。

「蟹工船」の視点

「蟹工船」が山形の書店でも全国の書店でも異例の売れ行きだそう。日本共産党員で、拷問で虐殺された作家・小林多喜二の小説です。

当時の過酷な労働の実態が、現在の非正規雇用の人を使い捨てにするような状況と重なるのではないかと指摘されています。

小説では、労働者たちが連帯して立ち上がる様子が書かれています。私は、この点にも読者の方が共感しているのではないかと思います。

競争社会でバラバラにされ、絶えずふるり落とされる不安が大きくなっている現代、多くの人が人と人との「きずな」を求めて模索しています。ふるり落とせないような人と人とのつながりをもった塊を、どうやって築いていくのか？

新しいユニオンや地域社会の連帯をめざす活動は、一見、厳しいように見えますが、多くの人が求めていることではないかと思えます。